

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

||
2025 NOV.
第 270 号

学校長からのメッセージ

娘たちが隣に住み始めて1年。毎日、1歳と3歳の孫が保育園からわが家へ直行。入浴・夕食を共にして1歳の子はそのまま泊まります。朝は食事、排泄、着替えと、かつての穏やかな夫婦二人の生活から一転、にぎやかな日々が続いています。

そんなある日、3歳の孫が「馬の耳に念仏」「豚に真珠」と口ずさむのに驚き、尋ねると保育園で教えてもらったとのこと。実は我が子が幼い頃、一番近くにあるその保育園を候補に挙げました。が、英才教育を売りに英語やピアノなどを教えていたため「自然の中で思い切り遊ばせてくれるところがいい」と思い別の園を選びました。孫が通う園のHPを見ると、育てたい人柄の第一に「人に迷惑をかけない」とありました。私はその価値観には違和感があります。

30数年前、大阪YMCAの産休取得第1号として私は2か月の休みをいただきました。職場に復帰してからは、「迷惑をかけてはいけない」を一番に考え、「子育てをしている人は、やっぱりめだ」と言われまいように懸命に働きました。朝は保育園の門が開くと同時に子どもを投げるようにして預け、絶対に遅刻しないよう努めました。上司に相談するという発想さえありませんでした。「人に迷惑をかけない」ということは大切ですが、過度に強いると「自己責任」を強要する方向に向かうと思っています。社会や学校の制度上の課題が本質なのに「個人の努力不足」にすり替えられる危うさもはらんでいます。迷惑をかけることは「お互いさま」であり、「困ったときは支え合う」そんな持ちつ持たれつの社会が大切だと今は思うようになりました。

歳を重ねた今、意味がわからないまま諺を口ずさむ孫を微笑ましく見ています。先に音で言葉を覚え、後で意味を学んで理解する…どちらが先でも構わない。そこに体験が結びつくことで“より深い学び”になると思います。生徒たちが「学び（知識）」から「知識」を活用し、「体験」を重ねることで「学んで面白！」と思える場を提供したいと考えています。

(校長 鍛冶田 千文)

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい」

(マタイによる福音書7章12節)

学校法人 大阪YMCA

YMCA 学院高等学校

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町1-3

TEL 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831



[こちらから](#)大阪YMCAの機関紙
「大阪青年」にアクセスできます





今月の聖句

「神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。神は彼らを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。』」

(創世記 1 章 27～28 節)

この聖書の言葉は、神様がすべての生き物を造られた後に、人を造られた時におっしゃられたものです。この地上に様々な命を神様は造られました。その一つ一つをご覧になって、とても素晴らしい命だと喜ばれました。神様にとって大切な、愛するすべての命が、この地上で幸せに生きていくために、リーダーとなる存在を造ろうと思われました。それで造られたのが人という存在です。神様はあえて御自分に似せて人の命を造られて、「わたしの愛する生き物たちを頼むぞ!」と委ねられたのです。

現在、人はすべての生き物のリーダーとして、ふさわしい生き方や向き合い方をすることができているでしょうか。良いリーダーのお手本として神様はイエス様のお姿を示してくださいました。イエス様は自分を優先するのではなく、むしろ自分を犠牲にして人を救ってくださいました。それが良いリーダーの姿です。私たち人間は、自分たちを犠牲にしても様々な生き物たちを守ろうとできているでしょうか。自分たちの都合のいいように生き物たちの命を奪ってはいないでしょうか。人間一人一人が、神様からリーダーの立場を与えられていることを心に留めつつ、すべての命を大切にする生き方を見つけていくことを心から願います。



「今月の聖句」 自己紹介

福島 義也

河内長野みぎわ教会の牧師で、YMCA 学院高校の非常勤講師をしている福島義也です。

小さな虫から大きな動物まで、すべての生き物が好きです。車やバイク、音楽、スポーツも好きです。

身近な所に散りばめられている神様の恵みを伝えていきたいと思っています。

